

専門・認定看護師委員会ニュース

2017年 新年号 静岡赤十字病院
寒中お見舞い申し上げます！

訪問看護認定看護師 石神 泉

今年度より病棟看護師が退院直後のお宅に訪問しています。

平成28年度診療報酬改定により

入院医療機関における退院直後の在宅療養支援に関する評価として「退院後訪問指導料」が新設されました。

目的：医療ケアを必要とする退院患者が、安心して在宅で療養できるために、病棟看護師が訪問し退院後の医療ケア方法の見直しや修正を行う。



在宅に向けて出発！！
病棟でのケアが継続出来ているかな？



「入院中よりず～と表情がいいですね！」
ご家族から「点滴の滴下数がズれてしまい一晩中、速度を合わせていた」など多くの感想や質問がありました

病棟看護師が退院療養者宅に「退院後1か月以内に5回までの訪問」が認められました。病棟看護師と訪問看護師と一緒に訪問することで、情報の共有ができ、質の高い看護を提供できると考えます。

同行訪問を終えた病棟看護師から「行ってみて家族の想いや生活背景の理解とご家族のコミュニケーションの大切さを実感した」「もっと地域の訪問看護ステーションと情報共有し一人でも多く希望される在宅へ戻せてきたら」と感想が聞かれました。

糖尿病看護認定看護師

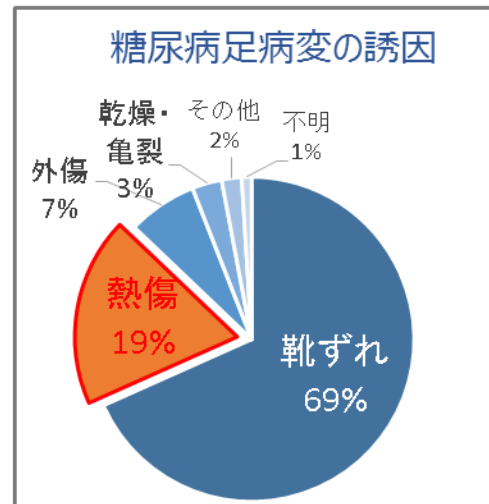
柿宇土敦子



冬季のフットケア 熱傷の危険と予防

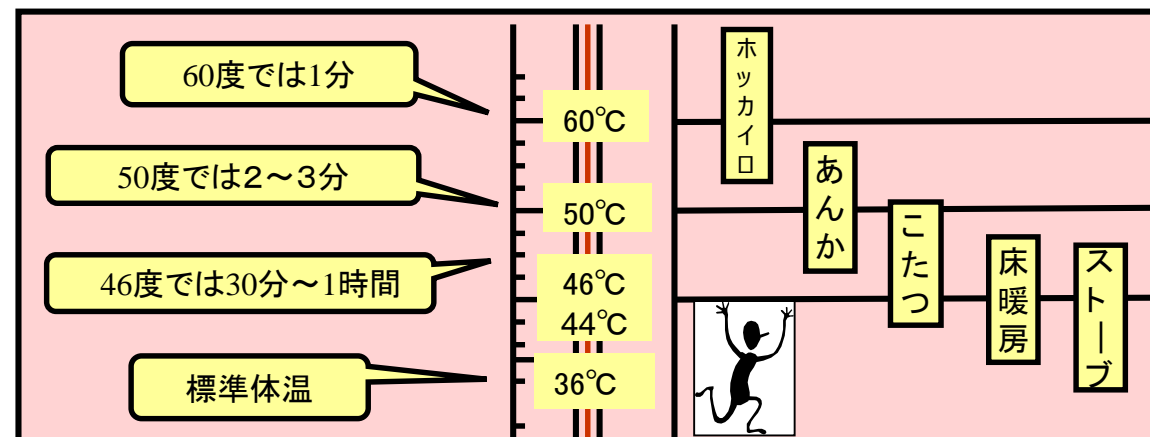


糖尿病足病変の要因のうち、69%は靴ずれ、19%は熱傷という報告があります。熱傷は日常生活の思わぬことから起きる場合があります。神経障害があると、皮膚の温度感覚が鈍るため、暖房器具を高めに設定したり、必要以上に長時間使用することで低温やけどを起こしやすくなります。低温やけどは比較的低い温度でも持続的に加熱されることで、皮膚の下の脂肪層まで進行することがあります。脂肪層は血流が乏しいため治癒に時間がかかります。患者自身も、自分の習慣が足病変のリスクになっているとは思っていないことが多いため、生活環境を把握し、安全に暖房器具を使用する方法を、患者と共に考えていくことが大切です。冬季は低温やけどの予防を、患者に説明していきましょう。



出展：新城孝道著。「糖尿病のフットケア」
医歯薬出版株式会社 P3 引用改変

◆皮膚の表面温度と低温やけどになるまでの時間◆



熱傷の予防

- ①風呂温度は39～40度の設定。シャワーも腕の内側で温度を確認する
- ②携帯用カイロは最高温度が60度以上になるため、直接皮膚に接触させない
- ③暖房器具をつけたまま寝ない。電気毛布・あんかは予め布団を温め、就寝時は電源を切る



編集後記

- 2017年も看護の質の向上のため、それぞれが活動を行っていきます。ぜひ、色々な場面で我々を活用してください。喜んでお伺いいたします。
- 寒い日々が続きますが、皆さま、お身体ご自愛ください。

救急看護認定看護師：名倉